

前回の地域福祉計画推進委員会の質問・要望に対する回答

No.	推進委員会での意見等	市の考え方・対応	状態
1	<p>成年後見制度について、市民への周知がうまくいっていないのでは。</p>	<p>成年後見制度の利用促進については、市町村計画のあり方やどのようなかたちで市民に周知していくかも含め、第4次吹田市地域福祉計画の策定を進める中で、検討を進めます。</p>	新規
2	<p>市民評価について、現在の70名の評価者の他に若い世代からの意見を反映できる仕組みづくりはできないか。</p>	<p>市民評価の評価者については、地域福祉的な観点が必要との考えから、これまで推進委員会委員、民生委員・児童委員地区委員長、地区福祉委員会委員長等をお願いしています。 第4次吹田市地域福祉計画の策定においては、実態調査等の実施方法等も含め、より多くの世代の意見を反映させたものとなるよう努めます。</p>	新規
3	<p>中間報告書の今後さらに取り組むべき施策に福祉意識の向上、周知活動を上げているが、具体的にはどういった活動を考えているのか。</p>	<p>基本的には、福祉に関する啓発イベント、地域福祉市民フォーラムを中心に周知活動を展開します。 その際、ゴミの減量に寄与するフードドライブなど、他分野の地域福祉に関連する取組などと合わせて活動を展開することで、市内での連携意識の醸成にも取り組みます。 また、地域福祉市民フォーラムについては、第4次吹田市地域福祉計画により多くの市民の意見を反映することができるよう、ワークショップ形式での開催も視野に入れ、推進委員会での意見を参考により効果的な周知活動となるよう検討します。</p>	新規